

交人知愛

登米市耕人塾
塾長のつばやき
第3期 第3号
令和5年9月29日
文責 千葉和彦

～本当の勉強とは～

目の前のことに興味・関心をもつこと

令和5年9月23日 第3回登米市耕人塾が開催されました。今回はアクション T②田上佑輔先生の講座を行いました。

テーマは「なぜ みんな 勉強をするのか」。先生は今、全国に「やまと在宅診療所」を開設しています。毎日のようにその診療所を行き来しているので

とても忙しい日々を送られています。当日も東京から来て、講話が終わった後、午後9:30の新幹線で東京に戻られました。

なんとといっても田上先生の魅力は人間力！そして熱い！！

講話というより、みんなで車座になり、投げかけ、受け止め、そして一緒に考える対話式ディスカッション。

20人参加した塾生は、一人一人思い思いの意見や質問を田上先生とやまと在宅診療所の職員である菱沼さんに投げかけていました。

そんな先生が今回の講話でお話しされた内容をごく簡単にまとめました。

- ① 「人のために役立つ仕事をする人は、いつか必ず成功する。だから自分が幸せになることも大切だが、周囲を幸せにするために自分が何ができるかをしっかり考えたい。
- ② 点数を上げるための知識の習得は大切だが、それだけ考えていると勉強はちっぽけなもので終わってしまう。

生きた勉強をするためには目の前のことに興味関心を持つことだ。

今後も機会があれば、田上先生のお話を皆さんに届けたいと思います。

さて、次回のアクション T③についてのお知らせです。

講師に元国立極地研究所 理学博士 船木實先生のお話をいただきます。船木先生は私の同級生のお兄さんで、秋田大学鉱山学部で地質学を学び、東北大学でさらに勉強して理学博士となられ、南極観測隊として13回も南極に渡り仕事をされた方です。さてどんな講義になるのでしょうか。登米市の地下構造が、自然災害とどう結びついているかをお話しいただきます。

最近頻繁に地震が起きています。東日本大震災とのつながりは……………。

北上川や迫川の地下構造は……………等々興味深い話が聞けると思います。